


平成16年7月3日(土)  333
移動法話会「伊豆」ご報告



この心如来となる

た矢先にこのたびの三寶寺様の移動法話に御縁をいただき大変楽しい一日を過ごさせていただきまして本当にありがとうございます。

私達にとりましては暫くぶりの旅だった訳ですが、今にして思いますが、皆同じ仏様のお導きをいただいているもの同志という心安さがあったのでしよう。不慣れな私達なのに、最初からリラックス気分で何の気もななく皆様に溶けこむことができました。普通のツアーでなくてよかったです。

特に武藤さんのハーモニカ演奏には感動いたしました。古い歌しか知らず遠慮がちな私達。年代にもピツタリの曲が多く、昔懐かしい歌に思わず大声

しんらんさまかるた

ねんぶつで

ふぶきのなかに
やすまれる

ある雪の夜、一軒
屋に宿を頼まれた親
鸞さまは、住人の



ひ野左衛門から邪けん^{けん}に追い返されました。夜中、眠れぬ左衛門が戸を開けると、雪中に金色の光に包まれて休まる聖人と弟子たちの姿がありました。左衛門は慌てて中に招き入れ、聖人の

で唱ってしまいました程でした。私達より大分ご高齢とお見受けしますのに、あのように皆を楽しませて下さるお元氣なお姿に。私もすっかり元氣をいただきました。最後になりましたが、いろいろとお心配りをいただきました御住職様、坊守様はじめお世話役の皆様

に心から感謝いたします。またご一緒させて下さいました皆様方に心から御礼申し上げます。

これを御縁に今後ともお導き下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

平成16年7月5日

合掌



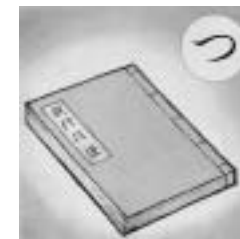
弟子になりました。

つたえるおしえ

きょうぎょう
しんしょう

関東稲田の草庵

で、親鸞さまは「教



行信証」(六巻)を撰述されました。お念仏の教えを理論的に体系化された真宗の根本聖典と言ふべき書です。時に元仁元年、聖人五二歳でこの年が立教開宗の年と定められています。

ふしぎな

かわごえの

おみょうごう

親鸞さまを讃え

る逸話や伝説は、全国各地に残されています。お念仏のみ教えを喜ぶひとたちが集まるとは、



信仰話に花が咲き、今に語り伝えられているのでしよう。対岸でかざす一枚の紙に、川をへだてたこちらの岸からお名号を書かれたという伝説は有名です。

小野寺トシ子様寄稿

例年恒例となった『三寶寺移動法話・研修会』は今年も好評のうち、無事に催行されました。今回初参加の小野寺様よりご感想を寄稿いただきましたので、ご紹介いたします。

今二人暮らしの私達夫婦にはつい先日までもう一人(?)の家族がいてどこへも出かけられませんでした。それが13年も一緒に暮らした猫でしたが去る3月に死にました。それは大変ショックでしたが一方でこれだけでも旅行などできる、と思ってい

